

公 告

契約担当官

航空自衛隊第83航空隊

会計隊長 淡島



下記により入札を実施するので「入札及び契約心得」を熟知のうえ参加されたい。

記

1. 契約方式 一般競争契約
2. 入札事項
  - (1) 件名 (26)地下タンク通気管等補修工事
  - (2) 工事場所 航空自衛隊那覇基地内
  - (3) 工事期限 平成26年9月12日
3. 入札場所 航空自衛隊那覇基地会計隊入札室
4. 入札日時 平成26年7月25日 13時30分
5. 参加資格
  - (1) 予算決算及び会計令第70条及び第71条の該当者については、参加できない。
  - (2) 装備施設本部の資格決定通知書の交付を受けた者のうち「水道施設」の資格を有する者。
  - (3) 契約担当官等から又は防衛省としての取引停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。
  - (4) 都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続していない者。
  - (5) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している者とは契約を行わない
6. 保証金 入札保証金：免除 契約保証金：免除
7. 入札方法
 

落札決定にあたっては、入札書に記載された金額に当該金額の8%に相当する額を加算した金額をもって落札価格とするので、入札者は課税業者又は免税業者を問わず見積もった金額の108分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

また、本件の入札は、郵便入札を可とするが、その場合は入札日前日までに航空自衛隊那覇基地会計隊契約班に必着とする。
8. 入札の無効 入札参加資格のない者による入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。
9. 契約書の作成 有
10. 契約条件 航空自衛隊標準契約条項及び適用契約条項を参照のこと。
11. 契約条項提示場所 航空自衛隊那覇基地会計隊事務室
12. 契約方法 確定契約
13. 落札決定方式 総額決定
14. その他
  - (1) 入札説明会 無
  - (2) 入札参加希望者は、航空自衛隊那覇基地会計隊契約班に連絡するとともに、資格決定通知書の写しを入札開始前までに提出すること。
  - (3) 入札保証金の納付を免除してあるが、落札者が契約を結ばないときは、入札保証金相当額を徴収する。
  - (4) 入札書に記載された金額の100分の108に相当する金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てるものとする。

本書記載事項の詳細については航空自衛隊那覇基地会計隊契約班 加藤 まで。

電話番号 098-857-1191 内線3532・3533

# 工 事 仕 様 書

- 1 工事件名 (26) 地下タンク通気管等補修工事
- 2 工事場所 航空自衛隊 那覇基地
- 3 工事概要 地下タンク貯蔵所(3基)の通気管、液面計等補修一式
- 4 一般事項
  - (1) 本工事は、本仕様書による他、次の関連規定により施工するものとする。
    - ア 公共建築改修工事標準仕様書 (設備機械工事編) 平成25年度版
    - イ 公共建築工事標準仕様書 (設備機械工事編) 平成25年度版
  - (2) 工事の着手、施工、完成に要する消防署に対する必要な手続きを遅滞なく行うものとする。
  - (3) 本工事施工にあたっては、本仕様書に明記なき事項といえども技術的に当然施工すべき事項は契約相手方の負担において実施するものとする。
  - (4) 設計図書の定められた内容に疑義が生じたり、現場の収まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合は監督官と協議する。
  - (5) 現場代理人は、工事現場の整理整頓に心がけ、風紀、衛生及び安全の管理並びに火災及び盗難の事故防止には万全を期するものとする。
  - (6) 入出門及び基地内における車両運行は、基地諸規則及び監督官の指示に従うものとする。
  - (7) 基地内の在来施設の保護には十分注意を払うものとし、万一不注意により破損した場合は、契約相手方の負担において原形に復旧するものとする。
  - (8) 工事に必要な書類は、監督官に指示する様式で期日までに提出するものとする。

関係者以外不許複製				
件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事			
図面名称	仕様書①	番号	1/6	
縮尺		年月日	26.7.7	
		施設隊長	総括班長	担当
航空自衛隊 那覇基地 施設隊				

5 特記事項

(1) 準備工

① 残油の処理

ア タンク内の残油は、タンク別にドラム缶（支給品）に回収するものとする。  
イ 残油量は、各々のタンク規格容量によるデットストックとする。

② タンクの洗浄

ア 入槽作業  
(7) 作業を行うタンク内部の危険物質、有害ガス等を確実に排出し、かつ、タンク内部に危険物等が流入しないように、バルブ等を確実に閉鎖すること。  
(4) タンク内部に入る直前に、可燃性ガス及び酸素その他の有毒ガス濃度の測定を行い、安全性を確認してから入槽する。再入槽する場合は同様とする。  
(9) 槽内の可燃性ガス濃度は、爆発下限界の25分に1以下、酸素濃度は18%以上となるよう常に換気を行う。  
(5) タンク内部での作業中は、タンク外部に見張り人を配置すること。

③ 洗浄作業

(7) タンク内部の洗浄は、界面活性剤系の油処理材を用いた洗浄水で高圧で洗浄する。  
(4) 薬品洗浄水及び洗浄水は、水切り及びウエス等で入念に拭き取るものとする。

(2) 材料

① 本工事に使用する材料は、本仕様書に適合するものとし、再利用品のものをぞきすべし、新品とする。  
② 本工事で使用する材料は、事前に資料及び見本等を提出し、監督官の承諾を得るものとする。  
③ マンホールの復旧に使用するガスケットは新品とし、使用圧力及び燃種に応じ適正なものを使用する。

名称	規格	箇所	備考
液面計	液面計 規格：容量または高さ 測定範囲：650～3500mm 取付サイズ：100A7フランジ 表示：容量または高さ 上下限警報出力兼点付 プガー一停止スイッチ付	3	ELM-2G1（工技研究所） 又は同等品以上
液面指示計	液面計 規格：容量または高さ 測定範囲：650～3500mm 取付サイズ：100A7フランジ 表示：容量または高さ 上下限警報出力兼点付 プガー一停止スイッチ付	3	DL-41型（工技研究所） 又は同等品以上
配管用炭素鋼管	JIS G 3452		黒管（50A）同等品以上可
丸型通気口	50A SUS304（40メッシュ）	3	

(3) 通気管補修

① 既設管の撤去に際し、切りくずが管内に入らないよう注意する。  
② 切断面は管軸に対して直角にし、その切り口は平滑に仕上げる。  
③ 既設管と新設管の接合は突合せ溶接による接合とする。  
④ 突合せ溶接に当たっては、開先加工または面取りを適正に行うものとする。

(4) 塗装工事

① 塗装範囲

ア 既設塗装面の塗り替え（タンクマンホール内部、既設通気管）  
イ 新設通気管  
② 素地ごしらせ  
ア 既存塗装面：劣化し脆弱な部分及び錆の除去、汚れ付着物の除去  
イ 新設通気管：汚れ付着物の除去、油類の除去  
③ さび止め塗料  
ア 種別：JIS K 5674 鉛・クロムフラー-さび止めペイント 1種  
イ 塗り回数：1回  
④ 下、中、上塗り塗料  
ア 種別：JIS K 5516 合成樹脂調合ペイント  
イ 塗り回数：下塗り2回、中塗り1回、上塗り1回

(5) 検査

項目	特記事項
タンク板厚測定	
(ア) 点検箇所	40kL（ガリソ）、40kL（軽油）、20kL（軽油）
(イ) 点検方法	タンク内面の全体を500mm平方に区切ったすべての箇所について、それぞれ3点以上測定するものとする。
気密検査	タンク及び既設地下埋設管
(ア) 点検箇所	40kL（ガリソ）、40kL（軽油）、20kL（軽油）
(イ) 点検方法	加圧法（窒素ガス）
(ウ) 点検圧力	20kPa
(エ) 残ガスの扱い	点検後の残ガスは大気中に放出するものとする。

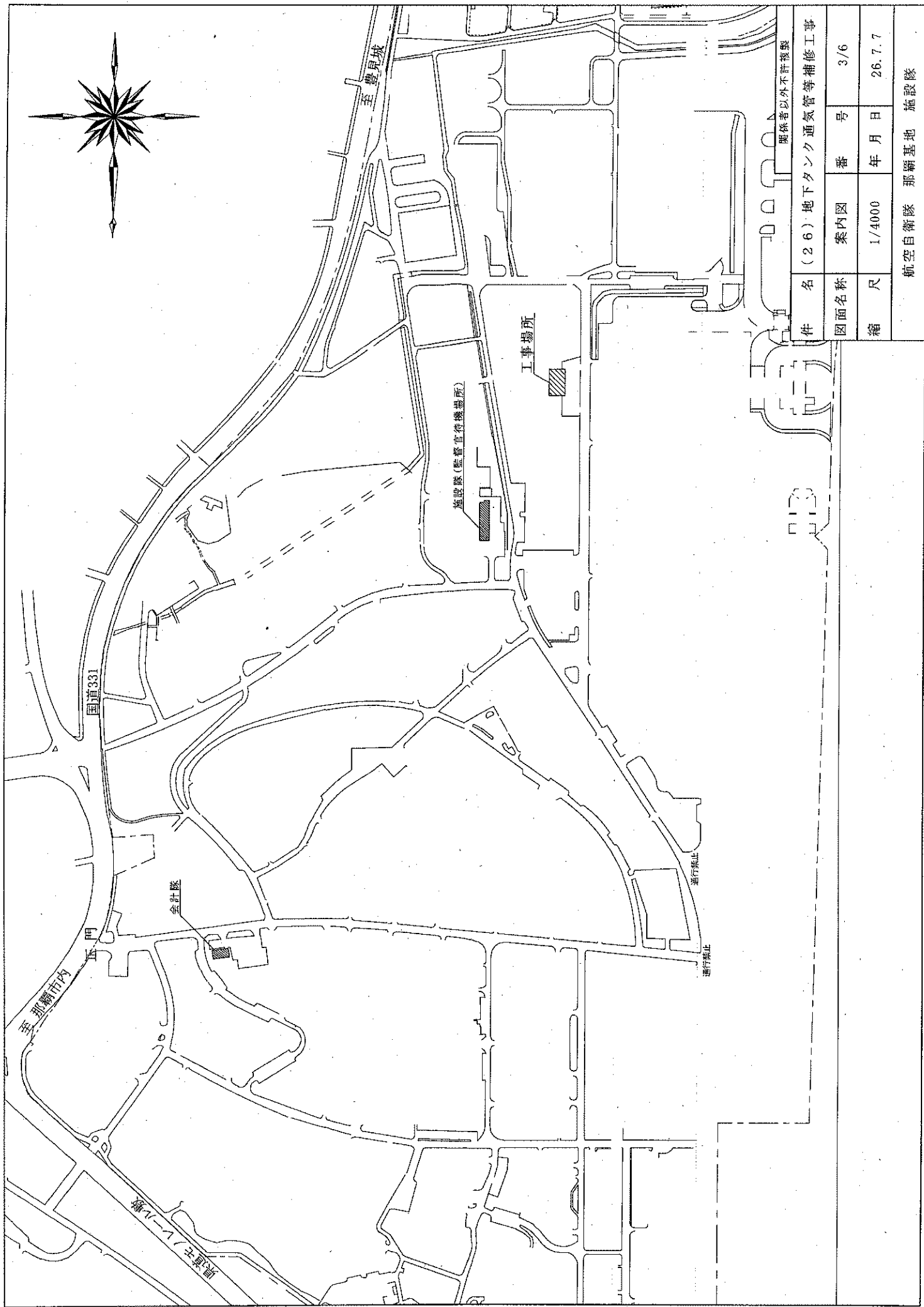
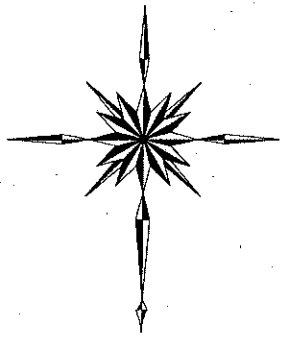
工事完了後に測定記録等整理した報告書を作成し、監督官に提出するものとする。  
(6) 発生材等

① 発生材のうち、発注者に引渡しを要するものについては、指定の場所に種別ごとに整理の上、発生材調書を提出するものとする。  
② 本工事で発生した産業廃棄物（廃油、洗浄排水等）は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に基づき処理し、管理表の写しを提出するものとする。

(7) 工事工程の期間指定

本工事において、タンク本体及び通気管に関する工程は、工事期間内の平成26年8月9日から平成26年8月24日の間に実施するものとする。

関係者以外不許複製	
件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事
図面名称	仕様書②
番 号	2/6
縮 尺	年月日 26.7.7
航空自衛隊 那覇基地 施設隊	

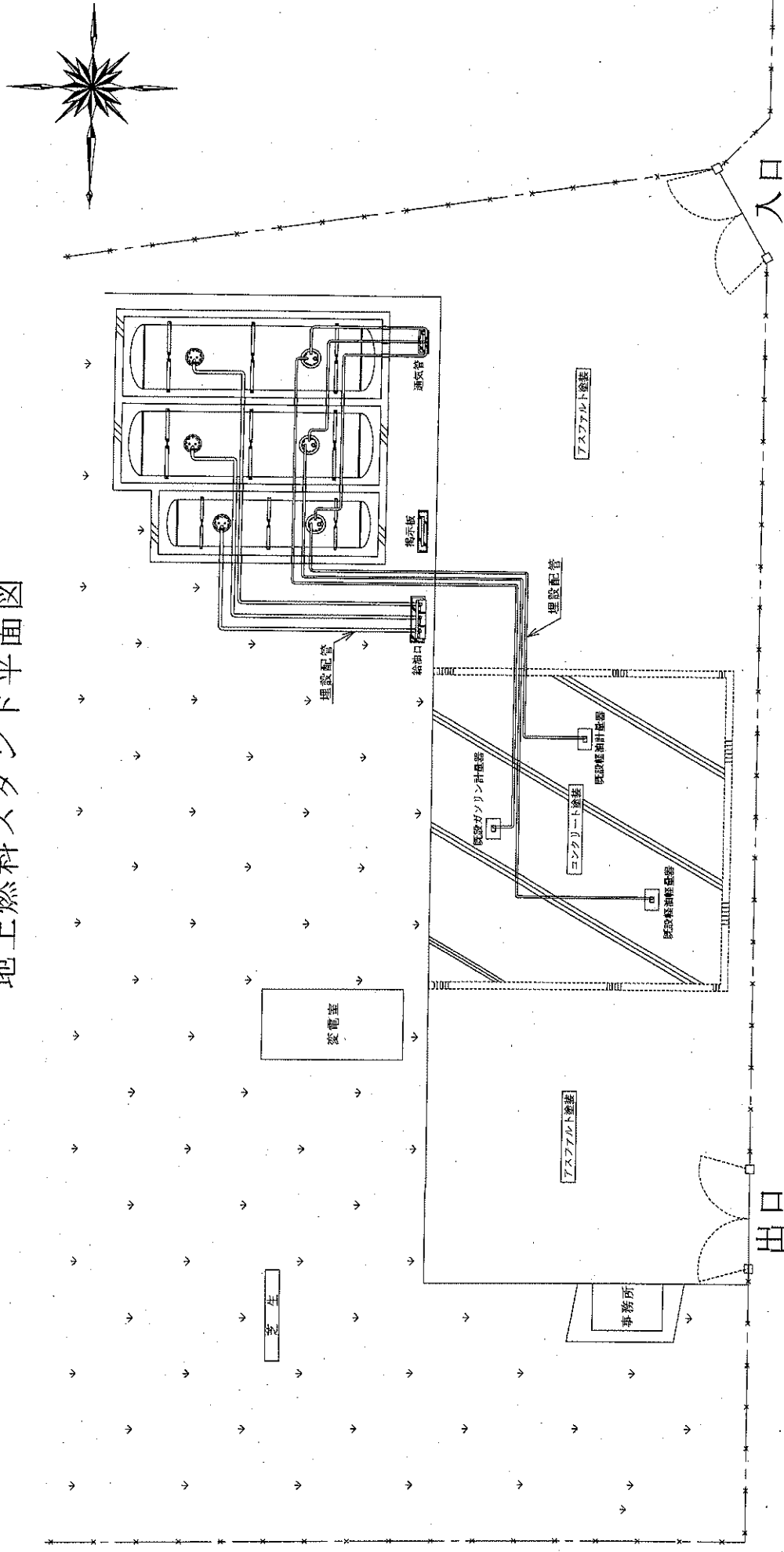


関係者以外不許複製

件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事		
図面名称	案内図	番号	3/6
縮尺	1/4000	年月日	26.7.7

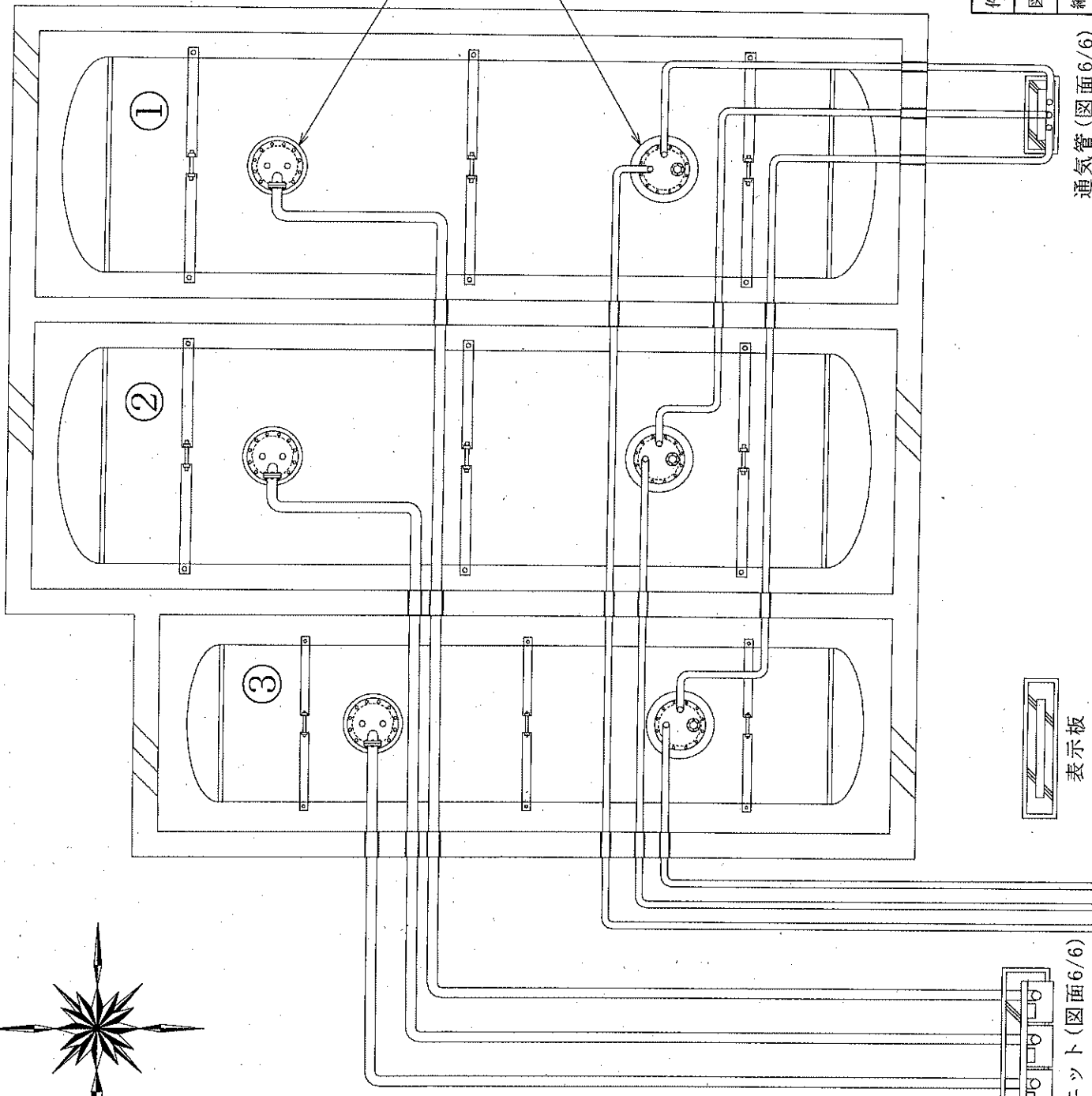
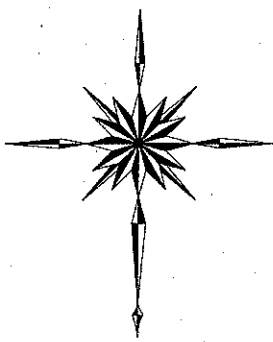
航空自衛隊 那覇基地 施設隊

# 地上燃料スタンド平面図



## 道路側

関係者以外不許複製			
件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事	図示番号	4/6
図面名称		縮尺	N・S
		年月日	26.7.7
航空自衛隊 那覇基地 施設隊			



マンホール蓋 (700 φ)

マンホール蓋 (800 φ)

記号	容量及び燃種
①	OT-40 40kL (ガソリン)
②	OT-40 40kL (軽油)
③	OT-20 20kL (軽油)

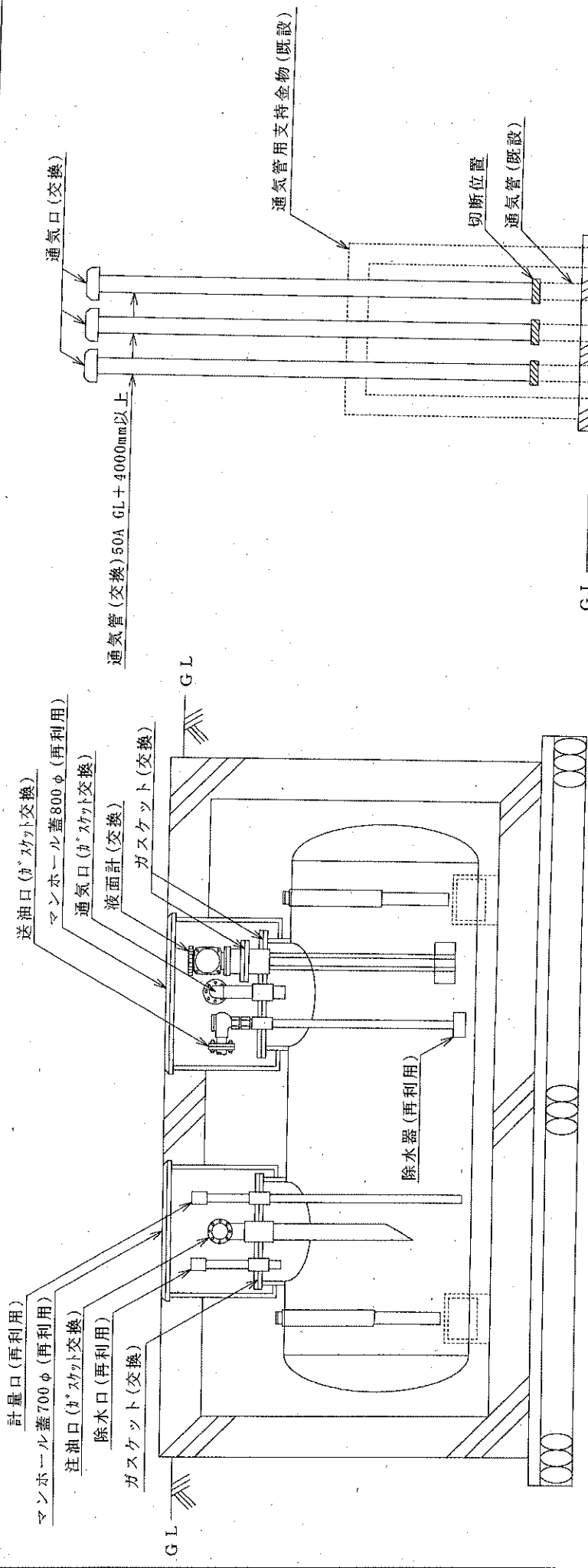
関係者以外不許複製	
件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事
図面名称	タンク配置図 番号 5/6
縮尺	N・S 年月日 26.7.7
航空自衛隊 那覇基地 施設隊	

通気管 (図面 6/6)

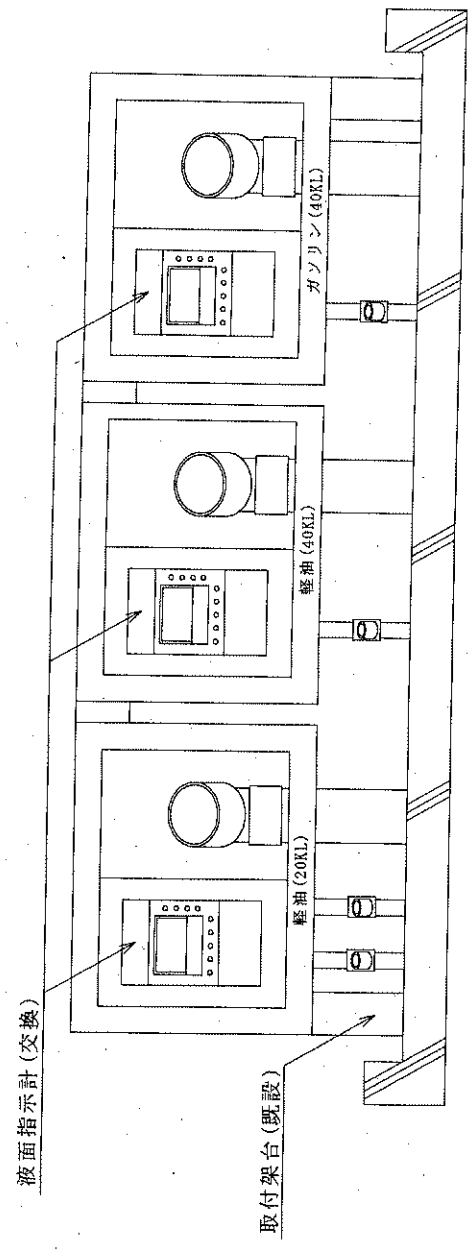
表示板

給油ロケット (図面 6/6)

計量器



地下オイルタンク詳細図



給油口ユニット詳細図

通気管詳細図

件名	(26) 地下タンク通気管等補修工事		
図面名称	詳細図	番号	6/6
縮尺	N.S	年月日	26.7.7
航空自衛隊 那覇基地 施設隊			

関係者以外不許複製